

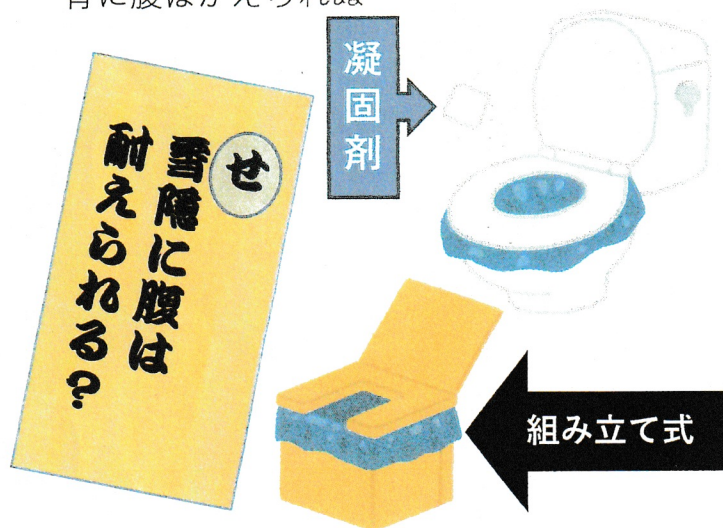
防災かるた さつき自治会

編集：防災を考える会

三月（やよい）

学校では卒業式。2年にわたった防災かるたも最終回。締めくくりは、トイレの問題です。トイレ不足⇒水分や食事を我慢⇒体力低下（熱中症）⇒生き抜く力の低下という負の連鎖を起こさないためにも、自宅で使える簡易トイレが防災対策のスタートポイントととらえて、準備を進めてはいかがでしょう。

背に腹はかえられぬ



好きこそものの上手なれ



断水や下水処理場被災でトイレが使えない場合、避難所（滝小）の屋外臨時トイレや、自宅で簡易トイレやビニール袋を使ってしのぐことになります。避難所のトイレは、数日で満杯になることが危惧されており、市でも簡易トイレの備蓄を推進しています。

防災対策は、無駄かもしれない面倒、と考えず、日常の危険を少しずつ減らし、生活の安全を高める活動として楽しむことが長続きの秘訣です。防災を趣味として、楽しみながら取り組んでいただければと思います。

防災部長の一言：

インフラは準備はいいも
アウトフラは忘れがち